



# ひまわりぐみだより



社会福祉法人尚徳福祉会 日野保育園 2021年2月

立春をすぎ、暦の上では春となりました。西公園の梅の木の蕾も膨らみ、「春がきたね」「一年生に近づいているね☆」と、これまでとは違う気持ちで身のまわりの春を感じています。卒園まで2か月弱となりましたが、就学に向けて気持ちを盛り上げながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。



## ☆丁寧に手洗いしよう☆

感染症の予防の為に大切な手洗いですが、水の冷たさも雑になりがちな季節です。そこで、加藤看護師による『手洗い指導』を受け、丁寧な手洗いの仕方を教えてもらいました。今回は、それぞれの「洗えていない部分」がわかるような装置を使いました。ウィルスに見立てたインクを手に塗ってから石鹸をつけて洗い、洗い残しをチェック!!しっかり洗えているように見えても、UVの光を当てて見ると、洗われていない部分が光るのです。「おかしいなちゃんと洗ったんだけどなあ」と、2回目以降は手のくぼみやシワなど、細かい所も意識して丁寧に洗っていました。今回わかった『自分の洗えていない部分』を意識して、丁寧な手洗いがしっかりと身につくよう、見守っていききたいと思ひます。



## ☆ひまわり鬼の登場だ!!☆

2月1日に、幼児の豆まき集会がありました。「ひまわり組は鬼のパンツを履いて、踊ったり戦ったりするんだよね」とひまわり組のお役目を楽しみにしていた子どもたち。「こわーい鬼のお面を作って、皆をびっくりさせようよ♪」と一生懸命に鬼を作っていました。大きな顔の土台に好きな色の画用紙をちぎって貼り、顔のパーツや髪・角は画用紙、毛糸、綿、お花紙など、それぞれが自分のイメージにあった素材を選び形にしていきました。中には多色を使ったカラフルな鬼や皆で育てたトウモロコシの皮を角にした鬼など斬新なアイデアも☆素材にあった道具の選択など、思うようにいかず苦労する場面もありましたが、試行錯誤を重ねて作った思いのこもった作品に大満足だったようです!!

豆まき集会では、『赤鬼と青鬼のタンゴ』を踊ったり、小さいクラスの友達の鬼役となって豆まきをしたりして年長児らしい姿を見せてくれました。そして、ドキドキタイム…本物の(!?)赤鬼と青鬼の登場!!うっすらと涙を浮かべる子もいましたが、「鬼は一外!!福は一内!!」と大きな声をあげながら果敢に鬼に挑んでいました。無事に鬼を退治して、ほっと一安心☆よい春を迎えられそうです。



## ☆いろいろな遊びに挑戦☆

年末から、新しい玩具が続々と入荷しています。球体で形を作っていくパズルや日本地図パズル、ルービックキューブなどなど…『じっくりと考える』遊びに夢中になって取り組んでいます。中でも、ひまわり組に人気なのが将棋です。駒の動き方や進め方を友達と教えあったり、手引を読んで調べたりしながら対戦を楽しんでいます。「ここに駒を置いたら、相手はどう動いてくるか…」と二手三手先を考えながら進めていくのです。じっくりと考える姿はプロ棋士のような☆子どもならではの思考の柔らかさや集中力に驚きの毎日です!!

◎上履きは毎週金曜日に持ち帰ります。洗って月曜日にお持ちください。

◎2月15日(月)より、各自ハンカチ・ティッシュを身につけて過ごします。必ず記名をしてください。ハンカチポーチを使っていただいても構いません。出し入れがしやすいようにお願いします。